

第4章：まちづくりの方向性

前章のまちの将来像をうけ、まち全体にゆとりをもたせることで、地域内の活性化につながる回遊性を向上させるなど、賑わいを創出し、人が主役のまちづくりを促進するための施策として、以下のとおり方向性を定めます。

(1) 広域的な拠点としての機能の更新・充実

北河内地区における広域的な拠点として、行政施設等を更新するとともに生活の豊かさを支援する機能といった新たな機能の導入・充実を図り、まち全体のリニューアルを促進します。

新町2丁目地区においては、新たな都市機能の導入により、既存の都市機能と複合・融合させ、広域的な交流拠点としての充実を図ります。

低未利用地等の有効活用により居住機能を確保するとともに、市民生活に必要な商業施設等、賑わいを創出する都市機能の充実を図ります。



(2) 社会環境や市民ニーズに対応した多様な都市機能の集積・強化

社会環境の変化や多様化する市民ニーズに対応するため、生活の豊かさや暮らしの質の向上に寄与する多様な都市機能の集積・強化及び、総合的な経済活力の向上を図ります。

その実現には、まち全体で建物の連鎖的な更新により、都市居住への立地を促進するとともに、未来を見据えた低炭素まちづくりを進め、緑化推進等の景観に配慮した快適な都市空間の整備に取り組みます。

また、まち全体を界限性*のあるモールにとらえ、店舗・レストラン・宿泊施設等により活性化や賑わいの連続性を創出し、ゆとりの空間の導入とあわせて回遊性の向上を図ります。

建物の更新やゆとりの空間、外周道路の整備等により災害に強いまちの形成を促進します。



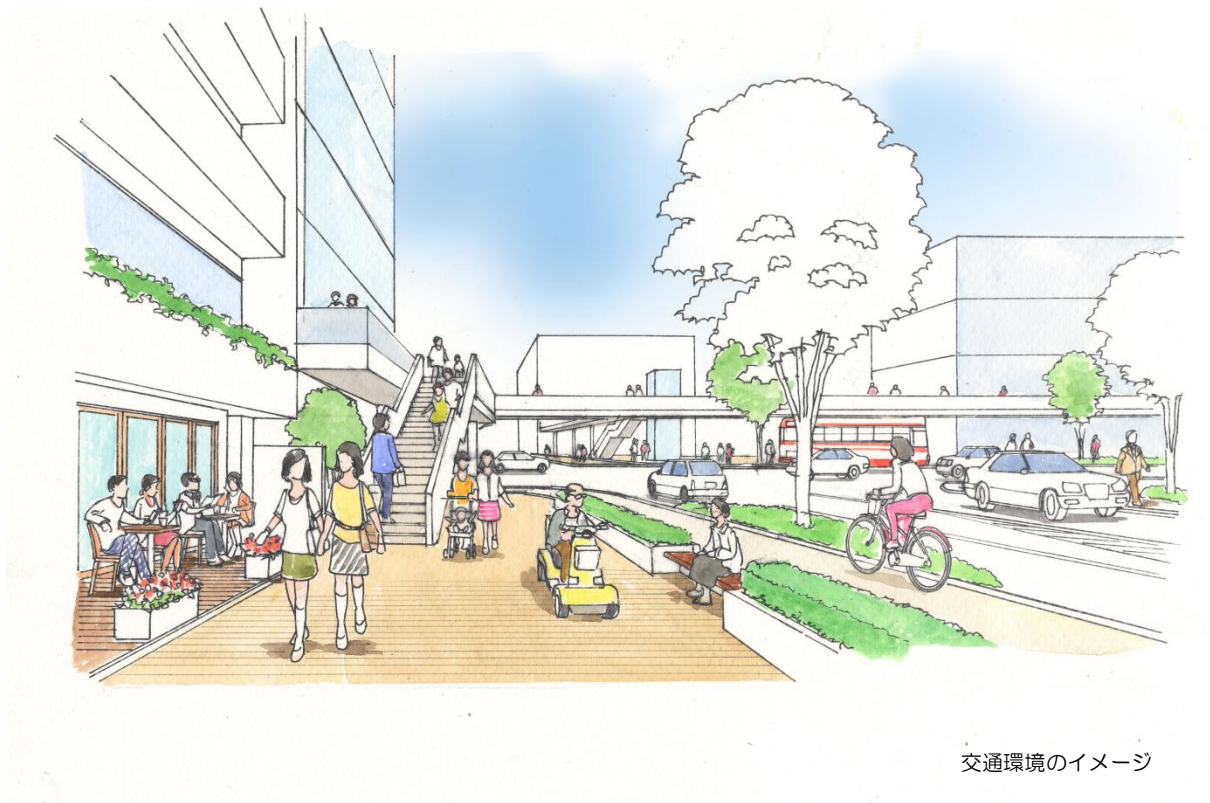
住・商調和のイメージ

(3) 人々の活動や交流を促進する交通基盤のネットワーク展開

枚方市駅周辺地域での回遊性の向上や人々の交流に寄与するため、景観に配慮した環境空間の整備を行い、誰もが安心して利用できるまちを創出します。

外周道路網を形成することで地域周辺の交通環境の向上を図り、地域内への車両の進入を抑制します。

時代の変化に対応した駅前広場機能の強化を進め、交通結節点として乗り換え利便性の向上を図るとともに、駅前広場における通過車両の抑制等により交通動線の円滑化を図ります。



(4) 地域資源と文化芸術活動を活かした枚方らしさの創出

枚方市駅周辺地域の地域資源である枚方宿や淀川等をまちの魅力づくりに活かします。

また、枚方市内 6 大学の学生の日常的な交流、活動等、学生のまち枚方として若者が集うまちづくりを推進します。

さらに、文化芸術の拠点となる総合文化施設を整備することで、本市の特色である市民の文化芸術活動をより活発化させます。

これらにより枚方らしさを創出し、あわせて情報発信することで都市の魅力を高めます。



文化芸術活動のイメージ



地域資源のイメージ